

啓明舎ふるさと講演会

参加自由。どなたでもお聞きいただけます

駄知は、なぜ どんぶりの町なの？



近代美濃焼には、地域ごとに特産品がありました。
駄知は「どんぶりの町」といわれます、なぜでしょう？

明治以降の、美濃におけるやきものづくりを学び、
駄知町発展の歴史を学びます。

開催日 9月28日(土)
14時から

会場 駄知公民館
2階大ホール

講師 中畠 茂氏
(美濃陶磁歴史館学芸係長)



写真提供
美濃陶磁歴史館



「どんぶり」の名前の由来

江戸時代のうどん売り(儉飩・慙貧屋ともいう)が使っていた器を「うどん売り鉢」と呼んだ、あるいは「儉飩・慙食(けんどん)振り鉢」といい、それらがなまったという説が有力です。

主催 駄知公民館
後援 駄知町内会連合会